



明治大学校友会
福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

風のふくおか



27号

2011年1月



紫紺館よりお茶の水駅方面を眺む
左 リバティータワー その奥にアカデミーコモン

謹賀新年



支部長年頭ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

校友の皆さまにおかれましては、輝かしい2011年（平成23年）辛卯の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平素より校友会活動に、ご理解ご協力を賜りありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

私は、昨年5月に開催された福岡市地域支部総会にて、ご出席会員皆さまの総意により福岡市地域支部長の職務を古賀前支部長より引き継がせていただきました小川弘毅と申します。

明治34年福岡支部（現：福岡市地域支部）創立以来、歴代受け継がれています明治スピリットを肝に銘じ、多くの校友が楽しく集い交流を深め、母校明治大学の翼賛に貢献できる校友会活動を目指し、微力ながら努めさせていただきますので、校友の皆さまのご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

さて母校明治大学は、1881年（明治14年）の創



立以来、「権利自由」「独立自治」を基本理念として「質実剛健」「新たな知の創造」「時代の要請」に応えるべく人材の育成に努め、すでに50万人を超える卒業生を社会に送り出し、わが国の発展に大きく貢献して参りました。

そして本年創立130周年という節目を迎えることとなり、脈々と受け継がれるこの伝統は、時代をけん引するさらなる人材の育成を目指し、常に新しいことへの挑戦を続け、『個』を強くする大学として新たな歴史を歩みだそうとしています。

その取り組みの表れの一つが、昨年度大学一般入試志願者数が11万5700人に達し、初の全国1位となったことでもうかがえると思います。

私は、福岡市地域支部において、母校明治大学の発展に寄与するため、諸先輩の皆さまと若い校友の皆さんとの潤滑油となって、さらなる会員相互の親睦と交流を推し進めてまいり所存であります。

最後になりましたが、母校明治大学の益々の発展と校友の皆さまの一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国校友山形大会に参加して——平成22年9月4日～5日



長堀理事長のあいさつ

新幹線山形駅に降り立った時、日は45度西の方角に、沈み行く態勢に入っていた。しかし、暑い。山形もこの夏は猛暑日が続き、盆地の地形からか、福岡と変わらないか、それ以上かも知れません。その暑さたるや肌を焦がすようでした。福岡空港から朝、7時10分の飛行機に乗り、羽田空港、東京駅と乗り継ぎ、9時間有余の長旅でした。私は、ここ数年来、この全国校友大会に出席させてもらっていますが、楽しみなのは、校友会の開催地の名所・旧跡を見たり、歩いたりすることです。

今回も前々日から山形に入り、鶴岡市の鶴ヶ岡城と城内にある藤沢周平記念館を見て、翌朝、霊

峰月山に登りました。少し疲れましたが、山形に戻り、前夜祭の会場に着き、福岡市地域支部のテーブルに、長谷川先輩ご夫妻、有馬先輩ご夫妻、古賀先輩、矢谷さん、本田くん、西山くんの顔を見たときは、疲れも吹っ飛び、かつ嬉しく、飛び上がらんばかりの心持ちでした。遠く、片異土での先輩・諸兄との邂逅は、懐かしさと優しさに溢れるものでした。前夜祭が始まる前から福岡市地域支部の先輩・後輩の談笑は尽きず、本会が始まり、乾杯の音頭の発声執り行われるときには、卓上の乾杯用のお酒は空になっていました。長堀理事長、納谷学長、向殿明大校友会会長、遠藤山形県支部長の挨拶の中で、山形県の天童市は明治大学創立者の一人である宮城浩蔵先生がお生まれになった場所であること、また、今年、明治大学の受験者数が早稲田大学を抜いてトップになったことなどを聞き、明治大学校友として、益々意を強くするお話しでした。

翌日、矢谷さん、本田くんと、奥の細道で有名

な



萩原副支部長は上杉神社に参拝



私達は「山寺」へ行きました

な山寺に行きました。山の岩壁にはり付いた数々の末寺を一千有余段の階段を登りながら、松尾芭蕉の気持ちに浸りきり、下りたときに、寄った茶店でいただいた缶ビールと山形名物の玉こんにやくと、茶店の女将が、「自家製だから、食べてみる」と薦められた佃煮や漬物の

味も美味で、人の良い女将との談笑についつい長居をしてしまいました。「静けさや、喉にしみいる缶ビール」と云ったところでしょうか。字あまり、お粗末。

三人で、急ぎ山形に戻り、山形県民会館での校友会全国大会に出ます。理事長、学長以下のお話の後に、特別講演として、歴史や時代ごとの社会事象に詳しい作家加来耕三先生が「今こそ、明治大学創立者 宮城浩蔵先生に学ぶ」とのお話がありました。山形が生んだ明治大学の創始者の一人

である宮城浩蔵先生が、新たな時代の夜明けに、日本の司法制度の礎を築く「民法典論争」を巻き起こし、第一回帝国議



びっくりするくらいダイナミックな山笠音頭

会衆議院選挙で当選し、二期目の当選を果たした後に、志半ばの40歳の若さで急逝されましたが、その志の高さに心が熱くなりました。

その後は、懇親会です。会場の入り口では、ソプラノ歌手の美しい独唱が、歓迎し、舞台では、山形の芸子さんが、藤沢周平の世界を鮮やかに舞い踊り、月山からの修験童子や山伏が法螺貝を吹き、山形が生んだ日本のメジャーダンスである花笠音頭を、若い学生たちが花笠を振り振り踊り捲くるのです。その力強さに、校友も総立ちで楽しめます。料理が、これまた素晴らしいもので、山形のワイン、吟醸酒は飲み放題。中央に並べられたカフェテリア方式の料理とは別で、コーナーには米沢牛のステーキ、山形名物芋煮会、そば、日本海の魚介類で作られた寿司などなど、美味しくいただきました。最後は恒例の、広く円陣を組んで、校歌の大合唱が、ホール内に響き渡ります。このときに、「嗚呼、我、明治大学の学生として青春を送ったことを誇る」との思いを強くするのです。

今回の山形で素晴らしいおもてなしを受けたことは、私の、楽しい思い出になりました。

(S51商卒 壽崎 豪)

母校慕うきずなより強く

明治大の全国校友山形大会式典



山形新聞
2010年9月6日より抜粋

明治大の卒業生ら約1000人が交流した全国校友山形大会山形市・県民会館



Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

取締役会長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

福岡市地域支部総会



今年度の地域支部総会はまだ残暑きびしい9月17日（金）にセントラルホテルフクオカで行われた。当日は一般の校友や父母会、各地域支部長など来賓の方々あわせて約110名の出席があった。

まず今回、福岡市地域支部長としては初めての総会になる小川弘毅支部長が次のように挨拶をされた。最初自己紹介をされた後、先日筥崎宮で書を書いたが、「世の中が明るくなるように」と「明治大学の発展」を祈って「明」をいう字を書いた事や、企業やいろいろな組織で若い人達が活躍しているが、校友会もその若い校友の力が必要であり、是非とも彼らが参加しやすい校友会にしていきたいと抱負を述べられた。そして父母会の田中邦彦会長の乾杯の音頭で懇親会が始まった。

各年代ごとに分けられたテーブルでは、久しぶり

の再会で握手する校友や笑顔で酒を酌み交わす校友の姿が見られた。途中、10数名の新人紹介がありそれぞれ自己紹介をしてもらった。そして今回の目玉であるアトラクションで、中東やアラブ文化圏で発展した踊りであるベリーダンスが用意され、やや肌もあらわな踊り子さん二人がエキゾチックな踊りを披露し、拍手喝采を浴びていた。（鼻の下を長くした校友も多かったのでは・・・）その後、さらに平成会の若手校友が、明大グッズの景品がもらえるゲームを用意して、会場を大いに盛り上げた。最後は恒例の円陣を組み、声高らかに校歌を歌い、明大スピリッツの余韻を感じながらお開きになった。踊りあり、ゲームありと福岡市地域支部の元気な証といった内容でした。



挨拶をされる小川支部長



なごやかな懇談風景



新人紹介
「よろしくおねがいます」



エキゾチックなベリーダンス



盛り上がったゲーム



父母会のみなさま



女性校友を囲んで話が弾みます



中華民国 双十国慶節に出席して

中華民国（台湾）は10月10日が建国を祝う双十国慶節という祝日です。

台北駐福岡経済文化弁事所（領事館）の前所長が、明治大学校友の周碩穎氏だったことから、毎年その建国を祝う双十国慶節に私達校友会にも案内が来ていましたが、今年も10月8日 ホテルオークラ福岡にて祝賀会が行われ、周校友の後任の新所長 曾念祖氏に招かれ、絹笠県支部長を始め県下から校友が多数出席しました。

曾念祖氏は「30年前にはじめて福岡を訪れたとき、人情味あふれる人々が印象的だった。九州には草千里などの美しい自然、湯布院などの温泉、博多どんたく祭りなどの伝統文化があり、多くの台湾人観光



客をひきつけている。鹿児島を舞台にした『篤姫』や佐賀の『がばいばあちゃん』などのテレビドラマは、台湾でも放送されて人気がある。今後、経済・貿易、科学技術、観光、文化、修学旅行などさまざまな分野で相互交流を深めてまいりたい。台湾と九州および山口の交流の架け橋として、全身全霊で職責を全うしたい」と大勢の出席者の前で抱負を述べられていました。

中華民国は来年建国100周年という記念すべき年を迎えます。私達も前所長の周校友が築かれた台湾と明治大学福岡校友会の結びつきを、さらに発展していきたいと改めて思った事でした。

（編集委員一 女賀 信治）



曾所長と奥様を囲んで



明治大学校友会台湾支部の総会がさる11月13日(土)に行われ、福岡から絹笠支部長をはじめ19名の校友が参加しました。ちょうど首都台北では、2010台北国際花の博覧会が開かれており、私達もまずそこに行きましたが、生憎の小雨もようにもかかわらず、会場は大変な人手でした。その後、ホテルにチェックインし、総会会場の世界貿易センタービル34階の会場に向かいました。

総会は開会のあと葉支部長が、新しい鍾幹事長や在台湾日本人の桑原氏を副幹事長に委嘱した旨の紹介をされ、続いて来賓挨拶として向殿校友会会長が、いま校友会は現地校友会の拡大を図っている事などを話され、大学側から長堀理事長が大学の近況と現在計画中の事などを話されました。



周前所長を囲み再会を喜びました。

懇親会では来賓の祝辞として絹笠支部長が挨拶され、東京支店の半径1500キロでは約2億

人だが、福岡支店だと約8億の人が生活をしており、その視点から文化や経済の交流をもっと積極的にしてもいいのではないかと話されました。続いて朴韓国支部長が流暢な中国語で挨拶されたあと、前駐福岡経済文化弁事所の周所長の乾杯の音頭のもと懇親会に移りました。会場はテーブル形式で、台湾の校友が約60名近く出席していましたが、若い校友が多く6割近くは30代~50代前半だったように思えました。私達は名刺交換をしながら紹興酒で乾杯し料理を頂きました。アトラクションでまず頼副支部長の奥様がみごとな日本舞踊を披露された後、頼副支部長が手配をされた生バンドのもとカラオケになり、台湾の若手が次ぎ次に舞台に出て自慢の喉を聞かせてくれました。彼らが歌う歌はほとんど日本の歌で、台湾の校友がいかに私達を歓待してくれているかを感じました。私達も負けじとばかりに佐藤君、赤壁君、小生と舞台に立ち、それを見て向殿校友会会長も参加されるなど会場は大いに盛り上がりました。最後に小石原副支部長のもと、大きく輪を作り校歌の斉唱を行い盛大な台湾校友会総会、懇親会は終了しました。総会では景品が当たる抽選もありましたが、葉支部長や頼副支部長から私達一人ひとりにお土産を用意されるなど、大変な歓待をしていただきました。

翌日は港町の基隆、九份観光です。専用バスにて移動しましたが、ガイドの



中正公園にて

曾さんによれば、いま270万人の台北市は400年前は湿地帯だったそうです。その台北から東に約1時間半ほど進み、まず侵食や隆起によってできた奇岩怪石の「野柳地質公園」を見学しました。次に基隆港を一望できる中正公園に寄った後、今日のお目当て「九份」の街に着きました。「九份」とはその昔、開墾した土地を九人で分けたという意味との事ですが、日本統治時代金鉱で栄え、その後人々から忘れられてひなびっていた街を、映画「悲情城市」が舞台として取り上げ、それがヒットし観光地となった街です。私もその映画を見ていたので楽しみにしていましたが、この日は日曜でもあり、先の野柳地質公園でもそうでしたが、ここでも大変な人だかり(その多くは中国の本土からの観光客らしかった)で、映画の舞台になった通りや家に行くまでの登り道を押し合い圧し合い、一時どうなる事かと思ったほどでした。(恐るべし中国パワー!) 幸い昼食会場の家では、ゆっくり台湾料理が頂けます。

夕食は「欣葉」という台北でも有名な台湾料理店にいきましたが、そこでも葉支部長や鍾幹事長それに若手の校友二人が出迎えてくれ、台湾式の乾杯を繰り返しながら食事や会話を楽しみました。ここでも葉支部長から台湾のフルーツ(リンゴと梨を合わせたような味でサクサクした食感)をおみやげに頂きました。

3日目は故宮博物院と台北101ビルの見学です。故



台湾料理店「欣葉」にも葉支部長が来られました

宮博物院は世界四大博物館の一つで、収蔵物は中国の歴史を伝える美術品や文献など約70万点余りとの事ですが、よくこれだけの収蔵物を北京から

運んできたものだと感心しました。台北のシンボルである台北101ビル(台北国際金融ビル)では、あっという間に101階まで登り、市内を眺めました。ここでも鍾幹事長や若手の謝君が見送りに来てくれ最後の別れを惜しんでくれました。台北最後の食事は、小籠包が美味しいと評判の店「鼎泰豊」で頂きました。日本にもチェーン店がある店で昼時は過ぎていたのに20人ほどの行列ができていました。こうして私達は台北での予定を終了し、夕方の便で福岡に帰りました。

今回も、同室の人のいびきで寝る事ができず、仕方なしにバスタブで寝た校友の可愛そうだが笑える話や、花博の集合時間になっても来られない先輩校友に何かあったかと走りまくった話(無事で良かった!)など、旅行ならではの面白い話がありました。しかしながら、この台湾の総会に参加して最もうれしく思った事は、台湾の校友の実に温かいもてなしと、そして元気な若手校友が多かった事でした。

一 謝謝、台湾校友のみなさん!

(編集委員 一 本田博志)

「東の会忘年会」開催!!

去る平成22年10月15日（金）、「東の会」恒例の忘年会が開催されました。

「東の会」は、故森泰播先輩が中心となり東区に縁がある緒先輩達が集まり結成され、すでに26年の歴史を誇っています。今年の「東の会」忘年会は、



上杉先輩経営の「杉庵」で開催しました。長谷川先輩（昭和30年商学部卒）を始め11名の出席があり、少人数ながらもなご

やかな雰囲気の中で忘年会が行われました。

今回は「東の会」の紅一点、中村徳子さん（平成4年経営卒）と若手の女賀信治さん（平成9年商卒）の参加があり、平均年齢が若干若返った「東の会」となりました。

アルコールが入るにつれ、先輩方の昔話に花が咲き、例年どおりの盛り上がった宴会となりました。最後は恒例の明治大学校歌を声高らかに斉唱し、また来年の再会を誓って解散しました。

（S52商卒 東の会連絡係 大田 芳弘）

南の会の忘年会が開催されました。

11月20日（土）大橋「田すずめ」にて南の会の忘年会が開催されました。

体調不良の鈴木先輩のピンチヒッターで私こと女賀が司会と幹事を務めさせていただきました。今回は37名中、初参加の方々も6名いらっしゃり、大牟田から西山・古賀校友も協賛品持参で参加くださり、スピーチあり、ジャンケンゲームありで、盛り上がりま



した。

この日は寒かったこともあり、もつ鍋と焼酎のお湯割りが飛ぶように売れておりました。

今回は転ぶ人も無く、大きな（笑）

忘れ物も無く、少し早い「良いお年を」の言葉と、校歌斉唱で再会を誓い合いました。

（H9商卒 女賀 信治）



第5回 西の会 開かる

11月27日 室見川河畔の料亭“三四郎”で第5回になる西の会が開かれました。ご承知のように東の会、南の会に続いて発足して満4年、福岡市の西区を中心に糸島市の方々を含めて交流を深めております。この西の会には名義上は約220名が在住されており、国会、県会、市会と三つの議員が揃っておりましたが、今回は国会の松山議員が急に欠席となり、市会が欠員となりましたので、県の田中久也議員のみの出席となり少々さびしくなっていました。

しかし、会は一年振りの再会者も多く、母校ラグビー部の復活振りもあり、また当日配布の全国大学比較資料（プレジデント10月18日号）で躍進する母校の姿に接し大いに盛り上がりました。青春と酒と料理の美味しさとが相俟って時の経つのを忘れるほどでし

た。

最後は室見川の清流に乗せて、オーオ メイジーの歌声で中締め、再会を約してお開きになりました。

（S31工卒 井手 安美）



第14回 東京六大学ゴルフ会

11月13日土曜日、秋晴れの空の下、第14回東京六大学OB対校ゴルフ会の開催にあたり、母校の名誉をかけて総勢90名の精鋭が、名門古賀ゴルフ場に集結致しました。内訳は、必勝体制で臨んだ東京大学22名と最多エントリー、次いで慶応大学17名、早稲田大学16名、法政大学11名、立教大学9名、そして我が明治大学は台湾支部総会訪問団に人員をさかれながらも、15名とやや小ぶりの選手団で挑みました。古賀ゴルフ場ではめずらしいであろう快晴無風、絶好のコンディションの中、年長者から順に豪快なティショットを放ち、和気あいあいの笑顔でスタートしていきました。

実は昨年優勝校の我が明大は連覇をかけて、10月19日に出場メンバー有志で本番に向けて練習ラウンドを行い、その反省をふまえ「入ったら迷わず出そう松の中」をキーワードに、我が校友は内に



秘めた闘志で他校の選手とラウンド。実際は、ナイスショットあり、チョロあり、3パット4パットはあたりまえの悲喜こもごものラウンドであったことでしょう。一人の落伍者も出ることなく無事に終え、表彰式と懇親会が都ホテルで華やかに開催されました。

さて総合優勝を決めるルールはダブルペリア方式にてハンディ算出後の各校ネット上位6名の合計を競う団体戦で、上位6名のグロス合計は断トツに明治が一位でしたが、ハンディキャップに恵まれず、ネット合計では、山田選手(75)藤瀬選手(75.6)田島選手(76)鈴木選手(76.6)松本選手(77.2)6番手には佐野明福ゴルフ会会長(78)と合計458.4で惜しくも総合三位という今年の結果でした。必勝を期した東大が456.8で準優勝、間隙をぬって抜け出したのが慶応の453.8で3回目の総合優勝をはたされました。平成23年度は立教大学さんのお世話で秋に開催される予定ですので、今年出場出来なかった皆さま、ダブルペリアに強い方、ぜひぜひ奮ってご参加ください。

(S56政卒 鈴木 弘幸)

第52回 駿台ゴルフ会 レポート

秋の晴れ渡る、高さ空のもと、絶好のコンディションで、第52回にもなる明大駿台ゴルフコンペに参加させていただきました。今回は、八幡地域支部のご好意で、チサンカントリークラブ遠賀での開催になりました。

朝の先輩、後輩との間で交わされる挨拶「先輩、お元気ですか」「おう、久しぶりやねえ」「今回の、コンディションはいかがですか」「お前には負けんけんね」が飛び交い、集合と記念撮影を終え、スタートです。私はここ最近の同会には参加させてもらっていますが、この和気あいあいとした、校友会の雰囲気が好きです。また、ゴルフの腕前は、今のところ、人並み以下ですが、この先、年齢を重ね、二つ、三つの誇れる趣味を持つておくことは良いことだとも思い、しばらく休んでいたゴルフに精を出すようになりました。

一緒に回ったのは、前八幡地域支部幹事長の石松先輩、福岡地域支部の矢谷先輩、久留米地域支部の小林くんでした。スコアの良し悪しは別に、メンバーのおかげで、楽しく、愉快地にラウンドさせてもらいました。なかなか、変化に富んだ難コースではありましたが、少し、私の技術も上達したようにも

思いました。

しかし、さらに嬉しかったのは、40回以上も参加してきて、初めて優勝の栄冠を勝ち取ったのは、同じグループのメンバーの矢谷先輩でした。苦節、20年にもなりましようか。矢谷先輩、おめでとう。本当にレベルの高い、駿台ゴルフ会での優勝は、私にも、今後、さらに老熟？してもなおかつ、ほの明るく見える可能性を感じさせる、遠賀の秋の夕間暮れでした。

八幡地域支部の皆さん、お世話いただき、ありがとうございました。

(S51商卒 壽崎 豪)



春日野部屋 だより

●●● Topic

年末にさしかかるとやってくる、そう待ちに待った九州場所の季節です。毎年恒例となった、我が校友春日野清隆親方、二十山親方、谷村マネージャー御一行様を囲んでの「杉庵」で行われた福岡校友による激励会。5人の幕内・十両力士を持つ春日野部屋だけに応援にも熱が入ります。連日通った朝稽古・・・白熱した稽古を目の当たりにし、今年は幕下の力士たちにまで釘付けです。応援の甲斐あり、



幕内力士には課題の残る場所となったものの、十両・幕下ともに優勝決定戦に残る好成績。将来の楽しみな若者たちも多くの勝ち越し成績となりました。さすが、迫力の指導の賜です。千秋楽パーティーでは激励会に続き大牟田支部校友の下地先生（昭53文 卒）まで駆けつけて下さり、上杉先輩の応援エールで締めくくります。さて、来年は九州春日野部屋後援会が50周年を迎えるとのこと。低迷続く相撲界ながら、力士たちの奮闘はさわやかです。来年は大関昇進力士も夢ではない春日野部屋！明治の皆さんも是非是非奮って激励会にご参加下さい！



(編集委員 — 中村 徳子)

活性化委員会レポート

活性化委員長 井手 安美

●●● Topic

活性化委員会は、明大校友会福岡市地域支部の活動の盛況と、若い会員の増強を目指すなど、地域支部全体の活性化を図るため、2年前スタートしました。

その目的を達成するため、まず支部からの情報を、各個人宛にメール（パソコン及び携帯）かファックスで頻繁にかつ多量に発信し届ける事にしました。近々スタートすべく準備中です。今ひとつは今までの幹事会の下に、実質的な活動を行う委員会を設ける事にしましたことです。総務、財務、企画、広報、情報、青年、ホームページなどで若い人を起用して、老、荘、青のバランスの取れた組織で会員の交流をより一層促進したいと思っております。

今後ともこの校友会に「参加してもらいたい」から進んで「参加したい！」となる事をコンセプトに

頑張ってもらいます。どうかご協力をお願いいたします。

(委員長 井手安美、神永正夫、内田紀生、善敏治、矢谷学、本田博志、佐藤洋、女賀信治)



大名総合法律事務所

弁護士 岩崎 明弘

(昭和34年・法学部卒)

事務所 〒810-0041

福岡市中央区大名2丁目2番26号
親和ビル3階

TEL (092)781-0019番・781-0025番・771-1967番

FAX (092)781-0102番・771-1967番



えくぼ会（校友有志の勉強会）を開催しました。—— 峯重新二郎先輩の卓話 ●●● Topic

9月7日、南区在住校友の光安 力先輩（S48政経）の事務所をお借りして、明治大学の校友で福岡大学名誉教授の峯重新二郎先生のお話を伺う勉強会が開かれました。峯重新二郎先輩（S28法）はたくさんの方の貴重な資料のコピーを用意され、海軍兵学校時代には緊張感の連続だった話や「自然と人間はどう生きるべきかを考えること」「人間とは？ 大人とは何か？」を考



熱弁をふるわれる峯重先生

える」「アメリカ政策による欲望の文明を脱却し、農業に戻れ」など印象深い話をされました。話の内容は若い私達に大変勉強に

なる内容でしたので、また是非機会を作っていただきたいと思いました。

卓話の後の懇親会では、光安先輩に手配していただいた福岡市南区の美味しい店の料理を食べながら、一人一人が好きな歌をアカペラで歌って回るという、いわば「昔の飲み会」を体験することができました。BGMの無い空間でここまで盛り上がるのは本当にすごいと感じました。（さすが明治大。）

（編集委員 — 女賀 信治）



藍綬褒章 伊藤重行 氏 ●●● Topic

2010年の秋の褒章に、福岡在住の校友で九州産業大学経営学部教授の伊藤重行氏が授与されました。伊藤先生が授与されたのは、公衆の利益に寄与した、または公共の事務に尽くした人に与えられる「藍綬褒章」。伊藤先生は大学で教鞭をとられるかわら、「福岡県明るい選挙推進協議会」で、公職選挙法13条に基づく投票の仕方についての啓蒙活動を、23年間の長きにわたり行ってこられ、この度その功績に対して褒章されました。「私が褒章をうけるなんて、信じられません。人生はわからないものですね。」とにこやかに話された。

先生は北海道の釧路湿原近くの鶴居出身。1968年明治大学政経学部卒業。大学院に進まれ1973年経済博士課程終了。九州大学と明治大学で経済学、政治学の博士号を取得しておられる。1976年にはローマ・クラブ研究員となり日本チームディレク



藍綬褒章を胸に伊藤先生

ターをされている。その他にもアメリカやフランス、ロシアや台湾などの大学で客員教授や名誉教授として指導されるなど、世界各国で活躍されているらしいです。



代表取締役
松山 孝義
(昭和60年 法学部卒)



〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002
e-mail: tm1999@pop06.odn.ne.jp

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 **野口 順四郎**
(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1
TEL (092)611-4423



平成22年度福岡市地域支部年会費納入者

平成22年度年会費納入有り難うございました。

本年8月に「福岡支部だより26号」と一緒に振込用紙を送付させていただき、12月10日現在までに下記の方々からご入金をいただきました。市支部運営の基本となります会費でございますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年度会費振込用紙は8月に振込用紙を送付させていただきます。(平成22年12月10日現在)

久留 邦明	大家 芳治	小松 和夫	塩崎 正臣	高野 礼子	永松 馨子	藤瀬 浩幸	宮原 誠一郎
岩田 憲明	小野 晃弘	権藤 茂	末森 茂	津島 潔	西村 昌史	古澤 英治	三井 成隆
井上 重男	奥村 勝美	古賀 伸武	杉山 元治	津山 武雄	西嶋 宏治	藤田 一枝	光安 力
伊藤 文武	大野 道興	古賀 喜之	鈴木 弘幸	塚本 保子	西井 久	逸見 明正	武藤 健二郎
伊東 吉之助	緒方 邦章	小松 健	末廣 正雄	角田 喜弘	新原 範昭	細川 政春	女賀 信治
今井 葉子	王丸 傑元	小石原 英照	関 順治	塚本 芳明	西山 和孝	本田 博志	森 重隆
石井 義孝	小野 淑史	小柳 平八郎	善 敏治	津田 恭宏	野田 武雄	増井 敦章	森山 昌直
鷗木 茂	緒方 裕三	坂本 秀信	関 賢司	鳥巢 尚吉	野村 勇	松尾 洋爾	大和 亨
宇野 伸明	太田 秀信	酒井 壮衛	瀬戸 敏郎	留川 公明	野口 順四郎	松本 正剛	矢谷 学
占部 一雄	鐘ヶ江 哲也	坂井 武敏	園田 博茂	富下 雅史	花田 浩	松原 徹男	山本 繁明
梅津 幸弘	上村 幸夫	佐藤 威	立石 傳	土井 経世	長谷川 敏夫	松本 優三	山崎 重喜
上杉 鷹雄	笠原 靖美	酒匂 輝昌	高村 和久	植橋 直人	長谷部 総一郎	松尾 耕造	山田 記義
内田 紀生	川原 均	桜内 良憲	田中 幸穂	中津留 正成	林 文郎	松山 政司	安武 秀忠
江藤 成人	神永 正夫	坂口 憲義	田島 隆信	中野 正	萩尾 政明	待鳥 邦夫	山本 保平
遠藤 啓子	木村 和彦	坂本 泰司	高山 展誉	中村 衛助	日高 梓	牧原 陽一	安永 富士男
大石 秀雄	木曾 厚三	佐藤 剛	田中 久也	中村 利彦	平尾 隆彦	溝口 正憲	山田 成昭
大園 勝	國武 統士	齋藤 七平	田中 裕一郎	内藤 龍夫	平山 又生	三野原 和光	八尋 慶太
大原 重徳	黒川 正道	佐藤 洋	田中 勝美	中村 良洋	廣瀬 修一	宮崎 良助	吉田 純一
小川 弘毅	熊谷 直美	佐多 浩彦	建川 聰	中村 淑子	東原 誠	峯村 映二	吉田 英介
荻原 弘章	草場 耕三	齊藤 博文	高原 眞	中倉 淳一	福永 英男	宮脇 宏彦	横山 秀司
奥園 克彦	熊谷 豪	櫻木 慶子	田籠 太郎	長坂 幸博	藤永 敦彦	峯重 新二郎	渡邊 勝三郎
太田 聖三	上月 武志	佐々木 義宣	橘園 一	中島 孝芳	古澤 英明	峯原 秀幸	(敬称略、順不同)
大塚 博暉	小林 文雄	城島 宏典	高園 義郷	中原 淳二	二木 清彦		

新年交礼会のご案内

福岡市地域支部の新年交礼会を下記の通り開催いたします。是非ご出席下さい。

- 日時 平成23年1月20日(木)18時30分
- 会場 セントラルホテルフクオカ・3Fダイヤモンドホール
福岡市中央区渡辺通4-1-2 TEL092-712-1212
- 会費 5,000円
(但し、女性校友及び平成15年以降卒の校友は4,000円)
- 問い合わせ先 事務局 矢谷 学(昭50法)
TEL092-631-3336(三栄印刷)

* 追而、準備の都合上同封返信はがきにて1月13日までに出席をお知らせ下さい。 * 当日に出席を取り消される方は当日会費の請求させていただきます。
* 福岡支部だより「風のふくおか」第27号を同封致しますので、ご一読いただければ幸いです。

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要だと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからもいろんなところで
カタチにしていきたい。



いつも人が
発想の原点。

株式会社 **松本組** 代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)
[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031(代)

志望大学ランキング<全国>

順位	学校名	人数
1	明治大学	92
2	早稲田大学	73
3	立教大学	55
4	法政大学	54
5	日本大学	53
5	中央大学	53
7	東洋大学	44
8	関西大学	42
9	慶應義塾大学	39
10	青山学院大学	37

時代のニーズに即した
学部・学科がある

順位	学校名	人数
1	明治大学	59
2	早稲田大学	54
3	立教大学	37
4	法政大学	36
5	日本大学	34
6	関西大学	31
7	中央大学	29
7	慶應義塾大学	29
9	立命館大学	27
10	東洋大学	26

実践的な授業を
積極的に行っている

順位	学校名	人数
1	明治大学	36
2	早稲田大学	33
3	立教大学	25
4	法政大学	21
5	慶應義塾大学	17
5	日本大学	17
7	立命館大学	16
8	中央大学	14
8	筑波大学	14
8	関西大学	14

就職活動支援に熱心

順位	学校名	人数
1	明治大学	37
2	中央大学	20
3	法政大学	18
4	関西大学	17
4	日本大学	17
6	早稲田大学	16
7	東洋大学	14
8	立命館大学	13
9	立教大学	12
10	慶應義塾大学	11

教養や社会人としての
常識の教育に熱心

順位	学校名	人数
1	早稲田大学	26
2	明治大学	20
3	立教大学	13
4	中央大学	12
5	日本大学	9
5	千葉大学	9
7	慶應義塾大学	8
8	法政大学 名古屋大学 東京学芸大学・筑波大学	7

外国語教育に熱心

順位	学校名	人数
1	早稲田大学	26
2	立教大学	22
3	明治大学	17
3	上智大学	17
3	青山学院大学	17
6	法政大学	14
7	立命館大学	12
7	南山大学	12
9	神田外国語大学	11
10	関西大学	10

明大ニュース (最近のニュースから)

1. 国連と明大が難民受入協定を締結

明治大学と国連難民高等弁務官駐日事務所は、難民を対象とする推薦入学制度を実施するための協定を締結した。関西学院大学、青山学院大学に続き、日本の大学で三例目。

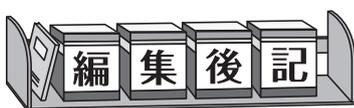
2. 「国連アカデミック・インパクト」 第1回会合に参加

アカデミック・インパクト (AI) とは国連と世界の高等教育機関 (特に大学) を結びつける取り組み。会合には明治大学、九州大学、早稲田大学、中央大学、大阪商業大学の5大学が参加。

3. オープンキャンパスに過去最高の4万8千人が参加

一層していきたいものです。今回も協賛広告を提供していただきました校友の皆様に厚くお礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員一同



校友の皆様 新年おめでとうございます。今年は兎年、ことわざ「うさぎの上り坂」

と言うのがありますが、兎年は良い方向に進む、進歩のある年と言われています。折りしも、明大は昨年はじめて受験者数で日本一になり、高校生の大学イメージランキングでも2年連続志望大学1位に輝いています。向殿校友会会長が台湾支部総会にて「明大は今上り調子だ」と話されましたが、兎年の今年更なる飛躍を期待したいものです。国内の景気や国際情勢 (特に朝鮮半島情勢では交流のある韓国支部校友が心配です) では、なかなか気を抜けない状況ですが、母校のがんばりが私達を元気づけてくれますね。私達も母校発展のバックアップをより

- 編集委員長 本田 博志 (昭52法)
- 委員 佐野 貞和 (昭59工)
- ” 今井 葉子 (平4営)
- ” 中村 徳子 (平4営)
- ” 石迫 弘久 (平8文)
- ” 女賀 信治 (平9商)
- 校友会事務局 矢谷 学 (昭50法)
- ” 高野 礼子 (平元法)